

りっぷる Ripple

エスコープ大阪機関紙
第199号
7
19. .29

表紙

・社会問題となっている「化学物質過敏症」

P2

・あなたの発する香りで隣人を苦しめているかもしれません

P3

・活動報告 2019シャボン玉フォーラム in やまぐち/針江げんき米田植え交流会/菜食ファーム訪問
・職員紹介 ・ワークス紹介

P4

・エスコープ大阪第6次中期計画
・エコロ給付状況報告
・子育てひろば案内
・理事会報告・おたよりネット・編集後記

社会問題となっている「化学物質過敏症」

「化学物質過敏症(Chemical Sensitivity: 以下、CS)」は2009年に病名登録された疾病概念です。私たちは生活の中でたくさんの化学物質にさらされています。CSは体質やストレスなどいろいろな要因がありますが、人体の薬物や化学物質に対する許容量を一定以上超えると引き起こされると言われています。発症すると極めて微量でも過敏に反応し、次から次へと身の回りの化学物質に反応するようになり、頭痛や吐き気に襲われ、日常生活に支障をきたすこともあります。少し前は住居の新築やリフォームがきっかけでCSを発症する人が多かったのですが、最近では合成香料に含まれる化学物質が原因で発症する人が増えています。香り成分は空気中に漂うため受動的に化学物質にさらされることから、「公害」をもじって「香害」と呼ばれるようになりました。被害に遭われている方のために「香害110番」を開設した「特定非営利活動法人 日本消費者連盟」の田中輝子さんに状況を伺いました。(聞き手:環境担当常務理事 泉 容子)



特定非営利活動法人
日本消費者連盟・洗剤部会

田中輝子さん

「香害」の深刻な実態

泉 日本消費者連盟(以下、日消連)では2017年の7月と8月に「香害110番」の電話相談を2回開設されたそうですが、実施してみていかがでしたか。

田中 当日は開設した2台の電話が鳴りつ放しで、受話器の向こうから漏れる嗚咽が事態の深刻さを現していました。「柔軟仕上げ剤のニオイを嗅ぐと脳がつかまれる感じがする」「家族から『あんたがおかしい』と言われて辛い」「職場で訴えでも理解されず退職に追い込まれた」など、心の叫びを聞き、「何とかせねば大変なことになる」と心から実感しました。

2日間で計213件の電話・FAX、メールが届きました。

2012年度に消費者センターに寄せられた相談件数が65件ですから、2日間でこれだけの数が寄せられることは、私たちの予想をはるかに超えていました。聞き取り表をもとに、今回話を伺うことのできた

電話対応の内容を集約し分析

したところ、性別は圧倒的に女性が多く、年代は50代、居住地は東京都が一番多いものの北海道や沖縄県まで全国にわたりました。反応するものについては複数の回答がありました

たが、圧倒的に多いのが柔軟仕上げ剤です。原因も複数の回答がありましたが、隣人がもつとも多く、職場、家族と続きました。中には本人という方もいました。それまで多種の香りを楽しんでいたところ突然発症したそうです。また、約半数の人がCSの診断を受けて

いましたが、診断がつかず周囲に理解されないまま病院を転々としている人も多くいました。環境省の報告によるとCSおよび疑いのある患者は全国民の7.5%にあたるそうです。今後さらに増えていく可能性が高く、これはもはや社会問題です。

加害者になつていくニオイ、気づいてほしい

泉 どのような対策が必要だと考えておられますか。

田中 事態を重く受け止めた日消連では、これまで化学物質削減のために活動してきた団体や患者団体を合わせた8団体の連名で原因とされる製品の

規制を求める要望書を消費者庁に提出しました。しかし、「原因が特定できない」とメーカーを擁護する態度をとられました。また、その後、合成洗剤・柔軟剤メーカー大手複数企業で構成する「日本石鹼洗剤工業会」に話し合いを要望しましたが、断られました。業界団体が消費者に真摯な態度を見せないことから、業界を監督し規制を設ける役割を担う各省庁に要望を出しました。健康に関わる問題として厚生労働省に、子どもの学校環境に関わる深刻な問題として文部科学省に、製品を規制するために経済産業省に要望書を提出し、国会議員にも理解してもらうため院内集会を開きました。CSの診断ができる医師が国内には10人もいないので、もっと医師を増やすことも要望しました。

香害をなくすためには、メーカーが健康被害を生みかねない製品を作らないことが一番の近道です。それができないのであれば、規制をかけるのが行政の役割です。そしてすぐに行える対策は、消費者が買わないという選択をすることです。周囲の人に迷惑をかけ、自分自身の体調不良にもつながり、子どもにも悪影響があり、「香害は公害だ」という認識が広がって欲しいです。

規制を求める要望書を消費者庁に提出しました。しかし、「原因が特定できない」とメーカーを擁護する態度をとられました。また、その後、合成洗剤・柔軟剤メーカー大手複数企業で構成する「日本石鹼洗剤工業会」に話し合いを要望しましたが、断られました。業界団体が消費者に真摯な態度を見せないことから、業界を監督し規制を設ける役割を担う各省庁に要望を出しました。健康に関わる問題として厚生労働省に、子どもの学校環境に関わる深刻な問題として文部科学省に、製品を規制するために経済産業省に要望書を提出し、国会議員にも理解してもらうため院内集会を開きました。CSの診断ができる医師が国内には10人もいないので、もっと医師を増やすことも要望しました。

泉 エスコープ大阪では有害化学物質の削減を方針に掲げています。自分たちの生活を守るには、他の誰でもない私たち消費者自身が現実起こっていることを見極めることが大切です。合成香料も化学物質であるという認識を深め、テレビCMなどに惑わされずに、自分たちの生活に必要なものと不要なものを見分ける力を付けていくよう伝えていきます。

エスコープ大阪では有害化学物質の削減を方針に掲げています。自分たちの生活を守るには、他の誰でもない私たち消費者自身が現実起こっていることを見極めることが大切です。合成香料も化学物質であるという認識を深め、テレビCMなどに惑わされずに、自分たちの生活に必要なものと不要なものを見分ける力を付けていくよう伝えていきます。

赤ちゃん誕生・せっけんプレゼント

1歳未満のお子さんを持つ組合員に「せっけん」を無料でプレゼントしています。該当する方は、配達職員に伝えて申請書を提出してください。

赤ちゃんの肌は敏感なので、皮膚や口に触れるものはせっけんで洗ってあげてください。

- プレゼント内容
- ・浴用せっけん
 - ・洗濯用せっけん用計量スプーン
 - ・洗濯用無添加せっけん
または洗濯用粒状せっけん
 - ・石けんライフ冊子



●お問い合わせ 理事会事務局 ☎072-293-4660

あなたの発する香りで

隣人を苦しめているかもしれません

2017年に「特定非営利活

動法人日本消費者連盟」の洗剤部会がおこなった「香害110番」によると、隣人が洗濯時に使用する柔軟仕上げ剤の合成香料に含まれる化学物質で頭痛や吐き気を感じるなど健康被害を受ける方が非常に多いことがわかりました。(表紙参照)

柔軟仕上げ剤とは、生地をやわらかく保つために使用されるもので、微香タイプのものが主流でしたが、近年は香りの強い外国製の柔軟仕上げ剤が流行し、国内でも芳香性を重視した製品が増えていきます。また、嗅覚は長時間同じ匂いを嗅いでいると鈍感になるので、使用者はより強い香りを求めるようになる傾向があります。あなたにとって心地良い香りが、隣人を苦しめているかもしれません。またある日突然、自らが「香害」の被害者になってしまうこともあります。

多用される「合成香料」

「香りはエチケット」という宣伝文句とともに、合成香料入りの柔軟仕上げ剤が多く出回るようになりました。合成香料の中にはアレルギーや喘息を誘発し悪化させたり、発ガン性のある化学物質を含むものもあります。しかし、合成香料の安全性に対する規制は世界的に甘く、業界の自主規制に委ねられているのが実情です。「国際化粧品香料協会(IFRA)」という世界基準があるものの、安全研究や審議の内容は公開されていません。また、国際機関などの公式リストで「懸



念ある化学物質」とされた物質が多く含まれており、問題が少なくないとアメリカのNGO団体が指摘しています。日本で製造されている合成香料は300種類以上あり、

複数(ときには何十種類も)ブレンドして使用されていますが、物質名は企業秘密として公表されません。表示義務もないため、香害の原因物質を特定するのは困難です。

香りを長持ちさせる「マイクロカプセル」

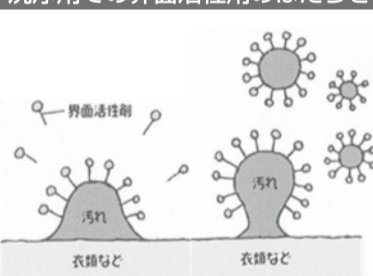
近年では香りの強さに加えて、合成香料を閉じ込めたマイクロカプセル(ミクロン単位の超微小粒子)を使って香りが長持ちすることを重視した柔軟仕上げ剤が開発されています。洗濯の際に衣類に付着したマイクロカプセルが、体を動かしたり刺激を受けるたびに破裂し、内容物の合成香料が飛散することで長時間香りが持続するという原理です。マイクロカプセルの材質によっては極めて毒性の強い化学物質であるイソシアネートが使われています。誤って吸い込んだ場合には超微小のため肺の奥深くまで入り込み、そこで破裂すると合成香料やマイクロカプセルに使われる材質の影響を直接体内で受けることになり、健康被害につながる可能性があります。また、マイクロカプセルは材料がプラスチック(合成樹脂)であるため、マイクロプラスチックとして環境に悪影響を与える問題もあります。



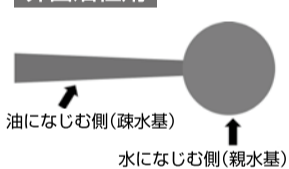
刺激性が強い「合成界面活性剤」

合成洗剤で衣類を洗うと合成界面活性剤が繊維に入り込み生地を傷めるので洗濯物の仕上がりがゴワゴワになります。そのため柔軟仕上げ剤を併用することが多いです。柔軟仕上げ剤の主成分は「陽イオン界面活性剤」です。洗浄とは逆に働き、界面活性剤の油になじむ側が外を向いているので、手触りが良くやわらかく感じます。しかし、水をはじくので布の吸水力は弱くなりま(左図参照)。陽イオン界面活性剤には除菌成分でもある第4級アンモニウム塩が使用されていますが、皮膚刺激性などが強く、アレルギー等の肌トラブルを起こす恐れのある成分です。柔軟仕上げ剤はすぎをしないため、合成洗剤よりも人体への影響が大きいです。

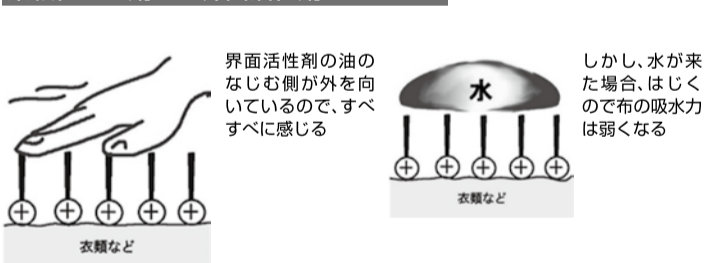
洗剤での界面活性剤のはたらき



界面活性剤



柔軟仕上げ剤での界面活性剤のはたらき



有害化学物質削減のために「せっけん」を利用しましょう

以上のように柔軟仕上げ剤には有害性が疑われる化学物質が多く含まれています。柔軟仕上

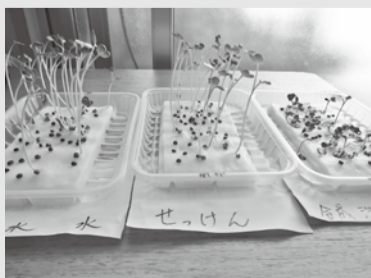
カイワレ実験が明かす合成界面活性剤の恐怖

「水」「せっけん水」「合成洗剤水」をそれぞれ与えてカイワレ種を育てた結果です。「合成洗剤水」は合成界面活性剤の浸透力の強さにより一番最初に発芽しました。しかしその後、合成界面活性剤が根の生長点を破壊してしまうため根が黒くなり生育は不良となりました。「水」と「せっけん水」についてはすくすく育ち、生育状態に差は認められませんでした。



合成洗剤を与えたものは、根っこが黒くなり成長していない

環境委員会で実験しました!!



げ剤は必要でしょうか? 合成洗剤ではなく「せっけん」で洗えば生地を傷めにくく、ぶっくら仕上がるので柔軟仕上げ剤は必要ありません。「せっけん」は合成洗剤より洗浄力があり、しっかりと汚れを落とせるので臭いの発生源を絶つことができます。

私たちは有害化学物質削減のために合成洗剤ではなく「せっけん」を推奨しています。使う必要のない化学物質は、自身の健康のためにも環境のためにも削減していきましょう。

環境委員会
2019
 シャボン玉フォーラム
 in やまぐち
 5月18日(土)~19日(日)
 山口県健康づくりセンター
 (山口県山口市)
 環境担当理事 山古 薫

せっけんを入り口に環境を考える「シャボン玉フォーラム」に、せっけんの利用を推進し環境運動に取り組んでいる全国の団体から約600人が集まりました。エスコープ大阪からは理事1名、地域委員2名が参加。せっけん類の利用伸長率が前年度よりも上がった優秀団体としてエスコープ大阪が表彰され、組合員のせっけん利用が増えていることを誇らしく思いました。



上関は黒潮と偏西風の影響で多様性豊かな環境にあり、自然海岸も多く「奇跡の海」とも言われています。私はその地に原発の建設計画があることを知り、環境を脅かす原発計画に反対する想いに共感しました。原発建設が進められると、沿岸の埋め立てにより自然海岸は減少し、原発からの温排水により海水温が7℃も上昇し、周辺の生き物は死滅し「奇跡の海」と呼ばれる環境がまったく異なったものになってしまっています。

地球の未来のために 私たちにできること

され、その過程で水が汚染されると年月とともに汚染の濃度を高めながら循環が繰り返されるという当然のことに気付きました。

「上関(かみのせき)自然を守る会」の高島美登里さんからは貴重な生態系の解明と保護活動についてのお話を伺いました。

シャボン玉フォーラムは年に1回開催されており、今回の開催地である山口県は、瀬戸内海、日本海、響灘に囲まれ、中国山脈や日本最大のカルスト台地である秋吉台など雄大な自然があり、人々はおいしい湧き水で生活しています。

水を汚さないために合成洗剤を使わないこと、プラスチックごみを増やさないこと、再生可能な自然エネルギーを選択してエネルギーの消費を抑えることは、まず自分たちができるものです。一人ひとりのできることの積み重ねが大切であることを再認識しました。

フォーラムでは「美祿(みね)市立秋吉台科学博物館」特別専門員の荒木陽子さんより「カルスト台地・秋吉台の自然と魅力」のお話がありました。「水は正直です」と地下の秋芳洞(あきよしどう)から地上の秋吉台へ循環される水について話

すらに田植えを続ける大人たちをよそ目に、子どもたちは田植えそっちのけで田んぼに棲む生き物を捕まえるの夢中になっていました。子どもも大人も大地や生き物からパワーを存分にもらって表情がキラキラ輝いていました。

消費委員会
『針江げんき米』
田植え交流会
 5月25日(土)
 「針江げんき米栽培グループ」の圃場
 (滋賀県高島市新旭町針江)
 消費担当理事 今里元子

生産者と組合員が共に 歩み育んできた「針江げんき米」

もおこなっていて、農業や環境保全を自然の中で体験を通じて学ぶことができます。

田植え体験では、「針江げんき米栽培グループ」代表の石津大輔さんから

エスコープ大阪の取り組みの中でも毎年人気の産地交流企画で、今年も10家族総勢29名の参加がありました。この産地訪問の特徴は、田植え体験と子どもに大人気の川遊びです。9月には田植えを体験した田んぼで収穫体験

らった後、参加者たちがいつせいに田んぼの中へ足を踏み入れました。泥のひやつとした感触にみんな思わず笑顔になりました。中腰の辛い姿勢でひた

堺市街地地域
「菜食ファーム」
訪問
 5月13日(月)
 「菜食ファーム」
 中村さんの畑
 (堺市中区東山)
 堺市街地地域理事 北野 幸子

私たちの『旬菜セット』の生産者である「菜食ファーム」の中村忠巳さんを訪問し、出荷中のトマト畑を見学しました。中村さんのトマト畑は約300坪あり、3月に2500株を定植しています。1株から約4kg(中玉で20~30個)のトマトが収穫でき、すべて収穫すれば10トンほどになります。収穫は5月中旬~下旬から始まり、7月上旬頃まで続きます。



菜食ファームの中村さん(左)と北野理事

で、若い頃にドイツで農業の勉強をしたことをきっかけに、有機農業に取り組みたいと思われたそうですが、すぐには取り組むことができなかったそうです。そんな中、自分と

菜食ファームの畑を訪問し、 トマトの栽培を見学しました

トマト畑は、土の状態を見てダニの発生や病気の発生を抑えるために2、3年堆肥を施していないそうです。受粉作業の前の4月初旬には茎を1本ずつ支柱にひもで吊る作業をし、収穫する頃には大人の背丈を越す約2メートルくらいまで成長するそうです。また、定期的に脇芽を取り、実の成りや成長をコントロールしているそうです。

子どもさんも仕事の合間に手伝ってくれるそうです。大阪府の食料自給率は2%(2015年度カロリーベース)です。『旬菜セット』を食べることで地域にある畑(食料)や緑豊かな自然環境を守り、生産者と消費者がつながることで地域も元気になると思います。この大阪の農地をなくさないように、たくさんの方で菜食ファームの『旬菜セット』を登録していきましょ。

中村さんの農業歴は30年以上

を思いくださりました。石津さんからは、『針江げんき米』や自然に恵まれた針江地区について、そして琵琶湖の水環境保全活動についてお話を伺うことができました。

最後に子どもたちお待ちかねの川遊び。石津さんたち生産者は時を忘れてはしゃぐ子どもたちの姿をうれしそうに眺め、「自然豊かなこの地で思い切り遊んだ思い出を持ち帰ってほしい」と望んでおられました。消費材が



らも大切にしていきたいです。

日々勉強!! 職員さんが自己紹介!!



馬場 圭祐 (33歳)
 エスコープ大阪
 在籍年数5ヵ月
 [共同購入フロア・堺支所]

私は兵庫県出身で、生協と入協して「大阪にはこんなにくさんの生協があるのか」とビックリしました。

入協してからの3ヵ月は、配達コースや消費材のトラックへの積み込み方組合員さんへの対応など覚えることが多く大変苦労し、体重が5kgも落ちました。現

GO! GO! 第8回 ワーカーズ・コレクティブ NPO法人 福祉ワーカーズ あゆみ <福祉>



インタビューに答えてくれた 鈴木さん、竹葉さん、山本さん

1997年、「地域に福祉W.C.oを創設しよう」とい

う生協の呼びかけで集まった組合員により1998年に各地域に福祉W.C.oが設立されました。堺市街地地域では「住み慣れた町で、みんなが安心して暮らしたい」と、住民参加型のホームヘルプサービスをおこなう「W.C.o あゆみ」が誕生しました。2000年に介護保険制度が始まり、制度に該当する利用者をエスコープ大阪の福祉事業の利用者として登録し、「あゆみ」のメンバーも「エスコープ大阪サポートセンター」のスタッフとしても活動しました。

2005年には堺市の育児支援ヘルパー派遣事業など自治体の事業委託による活動をするために「NPO法人福祉ワーカーズ

在は担当コースの配達にも慣れ、組合員さんとお話する機会も増えました。消費材のおいしさや調理法などを教えてもらい、消費材について日々勉強中です。組合員さんからいろいろと教えていただけたことが、私の成長につながっていると思っています。

当初は消費材の価格が高いと思いましたが、生産者が消費材を作る過程を知ること、最近では適正な価格だと思えるようになりました。これからは消費材を積極的に利用して私が組合員さんに情報を発信する側になればと思っています。

担当するコース以外の組合員さんも、今後お会いする機会があればお声をかけていただければうれしいです。どうぞよろしくお願いたします。

あゆみへと発展しました。現在のメンバーは19名で、主な事業内容は、介護保険制度外の生活支援と子育て支援、堺市の委託事業のヘルパー派遣です。それに加えて、高齢者の健康維持と交流事業の一環として定期的に「歌ごえひろば」や「お楽しみ健康体操」を開催したり、イベントに出店し活動のアピールも積極的におこなわれています。

取材当日は「歌ごえひろば」にたくさんの方が参加されていて、堺市の育児支援でつながったお母さんも赤ちゃんを抱っこしながら参加していました。これからも地域と人をつなぎ、地域に笑顔をひろげ、共に歩む活動をすすめていきたいと考えておられます。

高齢者の生活支援や子育て支援は「あゆみ」または堺市を通して利用することができます。一人で悩む前に一度相談してみてください。

※W.C.o:ワーカーズ・コレクティブの略。非営利市民事業で、地域に必要なサービスを共同出資して自主運営し、みんなで働く。地域に必要なコト・モノを自ら生み出し、地域貢献の視点をもち、



エスコープ大阪 第6次中期計画



第1回 理事会報告 <6月11日>

[決議事項]

- ①理事長、専務理事及び常務理事の選出について
- ②代表理事の選定について



第2回 理事会報告 <6月14日>

[4月度決算報告]

- 供給高 1億9,776万円(前年同月比95.8%)
- 組合員数 19,505名(前月比+79)
- 一人あたりの出資金 79,997円

[5月の放射能検査結果]

連合消費材772検体、エスコープ大阪独自の消費材3検体の放射能検査を実施。生活クラブ自主基準を超えた検体はなく、すべての消費材を供給しました。

[決議事項]

- ①役員人事委員会の設置について

[協議事項]

- ①第53回総代会について
- ②生協業務をワーカーズ・コレクティブへ委託する場合の内規(案)
- ③まつり全体企画役割、全体推薦・地域推薦団体の決定
- ④3月遺伝子組み換え反対運動推進月間取り組みまとめ
- ⑤エネカフェの総括と2019年度の方針について
- ⑥2019年度32週(8月12日から8月18日)店舗城山台Doの営業について
- ⑦店舗消費材の品揃え新規提案(独自取扱消費材)「ドリップBOX」
- ⑧泉北ニュータウン地域の地域チャレンジ提携生産者について

[報告承認事項]

- ①2019年度(6/12～)組織体制について

エスコープ大阪では第6次中期計画として、いろいろなことを生み出すための基礎づくりをすすめていきます。「人が人としていきいきと生きていける持続可能な社会をつくる」ために、またその活動を広げていくためのヒト・コト・モノ・ハコをつくり出します。

今回は中期計画の実行方針である「食への取り組みをさらに強化します」という方針の中から、地域での地場野菜の生産と消費の提携をすすめる取り組みについてお伝えします。

要望するだけではない、生産者とともに消費材をつくる楽しさを体験する



泉北ニュータウン地域の組合員が
菜食ファームの仲野さんの畑を見学

「地域チャレンジ」に 取り組む意義

エスコープ大阪では、食料自給力の向上や、環境や地域コミュニティの保全、自分たちでおこなう食料確保として、地場野菜の取り組みは今後ますます貴重になっていくと考えています。

都市近郊農地は都市生活者にとって、「食」を通じて暮らしそのものを考える貴重なフィールドとなります。また、組合員と職員の経験値や実践力を高めることができる大切な場であるとも考えています。

ます。たくさんの方々が地域で『旬菜セット』提携実験(以下、地域チャレンジ)に関わることで、「菜食ファーム」との地場野菜取り組みの持続性を高めていきます。また、食の取り組みを持続可能なものにするために、将来の就農者が登場するきっかけとなることも視野に入れ取り組みをすすめていきます。

動き始めた 地域での取り組み

今年度から地域ごとに提携材(以下、地域チャレンジ品目)への取り組みを開始し、地域での供給実験をおこないます。そのために、まず各地域で今ある『旬菜セット』の品目以外に、自分たちが食べたい野菜について話し合い、地域チャレンジ品目を決定します。そこから地域チャレンジ品目を一緒に作ってくださる生産者を探します。畑を訪問して生産者の話を聞き、提携生産者を決定し、理事会で承認されれば提携がスタートします。

2020年度以降は『旬菜セット』

に導入し、全体化を検討します。

6月の理事会では、泉北ニュータウン地域が同じ地域の「菜食ファーム」の生産者である仲野忠史さんとの提携を提案。仲野さんの畑に足を運び、自分たちの食べたい野菜を実際に栽培できるかなどを相談しています。今後は栽培から供給に向けて具体的な計画をすすめていくこととなります。野菜を栽培する大変さも味わいながらすすめていくことになるでしょう。

地域チャレンジは、単なる『旬菜セット』の品目を増やすための取り組みではありません。私たち組合員が「生産する消費者」として主体的に関わり、地域の環境や農業・農地、コミュニティなどを考える視点を持ち、生産者と共にいろいろな経験を積める活動です。

おおいに「地域チャレンジ」を楽しみ、活発な取り組みにしたいと考えています。地域ニュースなどで情報を発信していきますので、ぜひ参加して一緒にすすめていきましょう。



エコロ制度 6月度報告

加入者数 1,296名

給付状況	件数
組合員活動を支えるためのケア	0件
組合員活動中の共同購入品受け取りケア	0件
加入者本人の入院・通院・在宅療養に伴うケア	1件
加入者家族の入院・通院・在宅療養に伴うケア	0件
加入者本人の産前産後のケア	0件
長期に留守をする時のケア	0件
リフレッシュのためのケア	0件
儀式・行事に伴うケア	0件
高齢の加入者をサポートするケア	3件



エスコープ大阪の子育てひろば

日時	会場
8月21日(水)10～12時	大阪狭山市立公民館(河内長野・大阪狭山地域)
8月はお休み	さつき野東集会所(南河内地域)
8月8日(木)10～12時	泉佐野生涯学習センター(泉州地域)
8月27日(火)10～12時	和泉市コミュニティセンター(泉州地域)
8月はお休み	ファインプラザ大阪(泉北NT地域)

- *開催時間内であればいつ来ても、帰ってもOK
- *組合員でないお友達との参加もOK *事前申し込みは不要
- *お茶代100円(大人のみ)をいただきます

編集後記

7月1日発行の機関紙『りっぷる』臨時号でも報告しましたが、6月11日にエスコープ大阪の「第53回通常総代会」を開催し、すべての議案が承認されました。今年度は改選期のため、理事長の交代や新任理事が多く誕生し、新理事会がスタートしました。2020年には設立50周年を迎えます。これまでつないできた組合員の活動を絶やさない決意と、新しいメンバーが加わり新たな生協づくりへの期待を感じる総代会となりました。(K)

発行:生活協同組合エスコープ大阪 制作:W.Co パックプランニング

おたよりネット

「りっぷる」の感想やご意見、その他投稿は下の「おたよりネット」欄で。配達時に提出、あるいは店舗の専用BOXまで。

198号表紙「同じ地域に住む生産者と組合員だからできること」を読んで

紙面モニター Aさん

「菜食ファーム」の今野さんの「農薬散布中に死にかけた」という言葉に衝撃を受けました。以前の私は、農薬がこんなにも危険だとは知らずに、野菜はいかに安いか、虫がついていないかで選んでいました。今は、地元のもの食べることで地域とつながり、地域に貢献できる、作る人も食べる人も良いことづくめのこの関係を続けていければと思っています。

198号3面「『旬菜セット』の実エンドウ収穫援農」を読んで

紙面モニター Bさん

生産者だけで全量を収穫することが難しい状況を知り、私も地域理事と組合員と一緒に収穫のお手伝いをしました。収穫前の実エンドウはとてもおいしそうに感じてワクワクしました。生産者の辻さん夫妻が一生懸命に農業に取り組まれていることがひしひしと伝わりました。

Ripple おたよりネット

(ペンネームOK)

●地域名

●組合員コード

消費材の苦情についてはこの用紙でなく、電話またはメモで。この欄への投稿・ご意見は紙面でご紹介することがあります。

理事会事務局行き
199号(2019.7.29)

●お名前

●班名

キリトリ

生活協同組合エスコープ大阪

〒590-0151 堺市南区小代727

TEL.072-293-4660 FAX.072-341-0022

https://s-osaka.seikatsuclub.coop/